

仮説：禪院家には時代
錯誤のレイシストしか
いない

KJMPE

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

証明：私はクズではない。私は禪院家の人間である。よってこの仮説は成立しない。

Q. E. D. 証明完了

※このあらすじをあてにしないで下さい。

※アンチ・ヘイトは念のため。

リメイクです

目次

過去

クズの定義	2
先輩に怒るのつてアリですか	16
五条悟は最強になる義務がある(と勝手に考えている)	23

過去

クズの定義

紹介された「彼女」を見て、一瞬言葉を失って硬直した。8月の昼間であるはずなのに、この一帯だけ気温が下がったように感じる。さらには、周りの音が遠く、聞こえなくなる気がした。

…というのは嘘で、一瞬じやなくてだいたい長かった。音が聞こえなくなる云々も嘘だ。そして実は意外と冷静だ。

「ちえつ、全然表情^{カオ}変わんねえじゃん。あーあ、驚く顔見たかったんだけど」

本気で残念そうに顔を顰める先輩に対して、私はどう言葉を返せば良いのか。数秒悩んだ末に、小さく謝った。

《small》「すみません」《small》

「五条優です。悟がいつもお世話になってます、よろしくね。理央君」

私の謝罪を無視して

あるいは単純に聞こえなかったのか

「彼女」は

隣にいる兄にそっくりな顔に笑顔を浮かべながら自己紹介する。よく見ると、目、鼻、口元、全てのパーツが五条（の悟）先輩に似ている。というかほぼ同じ顔だ。

五条家は得体の知れないクローン技術に手を出すくらい跡取りに困ってるのか？いや、そもそも五条優が後継者になれるのか疑問だ。この男尊女卑の狭い御三家社会において、当たり前だが女性は地位が低い。つまり地位が低くて可哀想な人ってコト…？

割と洒落にならない冗談について考えるのはやめよう。生産性が無い思考とはまさにこの事。あえて突っ込まないが、早速の名前呼びが気になった。性格はさておきイケメンでモテる兄弟がいて、本人もかなりの美形。共学校にいたら嫌われるタイプだ。あくまで個人の感想です。

ちなみに当校はれっきとした共学ですが先輩はハブられてません。むしろ2年生の中心的存在かもしれない。同級生優しくてよかったね。後輩に厳しいけど。

そんな感じで、本当は今すぐ名前呼びをやめてもらいたいが、そんな事言ったら彼女の兄貴と変な前髪イェの先輩トにリンチされるのでやめます。

「…、はじめまして。禪院理央です。よろしくお願ひします、五条先輩」

正直よろしくしたくない。というか1ミリも関わりたくない。顔を覚えられないのは勿論、会話するなんて論外。五条家の次期当主の2分の1(仮)とか厄ネタでしかない。皆さんもよくご存知の通り、禪院家と五条家とあともう一つのナントカ家は仲が悪いんだよ。どこが先に相伝を出すか競って、結果はご周知の通り五条家が一抜けした。残ったうちとナントカ家——加茂家です——は両者、「あの家には負けたくない」と

絶賛冷戦中。

さて、今そんなことはどうだっていい。「彼女」改め五条の2分の1、長いので厄ネタは笑顔のまま右手を差し出して来る。誰がどう見ても握手を求めているが、ここはスルー。私よくわかりませんと首を傾げて質問。

「何ですか、…あ、なんででしょうか」

相手が年上である事を思い出して後から敬語で聞き直した。危ない。脳内で厄ネタだの2分の1だの呼んでるせいで、普通にタメ口で返してしまった。

彼女は一瞬真顔になった後、すぐに笑顔に戻って言った。

「何って、握手だよ。あ、もしかして嫌だった…?」

当然嫌だ。ただし本当に言ったら学内で自分の立場が消滅する。かといって伝えなかつたらこのまま握手されてしまう。それは嫌だ。厄ネタと握手なんてしたら厄がうつる。小学生の頃に流行った菌扱いと一緒だ。

というわけで、全力で困った顔を作って「握手したいけどできない人」をアピールする。さあ！これで好感度を下げてこの場から立ち去るぞ！

「すみません。私握手、というか人に触られる事が苦手なんです」

「そうなの？ごめんね、知らなかった」

知らなくて当然だ。初対面だし、君以外とは普通に握手するからね。謝罪の後にサ

ラツと含まれた言い訳は見逃さない。

呆氣に取られて間抜けな顔をした後、厄ネタはなんとなく悲しそうに目を伏せた。まるでアイドルに握手を断られたような表情。いや、一般人に握手断られたくらいで大きな。そんなに握手したいなら隣にいる兄貴に頼もうぜ。絶対喜んでしてくれるよ。

ところで、誰も一人称に突っ込んでくれないので解説しよう。……誰に？

『私』。意識した訳でもないのに自然に身についた一人称。昔から「めつちや嫌われているのに良い術式を持っている次期当主候補」様のライバル……というか禪院直哉様ドブカス以外の有力な次期当主候補、として周りの好感度を下げないように施された教育の成果だろう。あの人達には感謝している。おかげで成人した時偉い人に媚売るときに役立ちそうだ。

私個人としては、誰が次の当主になるかなんて心底どうでもいい。あ、ただし私がするのは勘弁な！自分が当主になって御三家の無期限法外チキンレースに巻き込まれるのだけは御免だ。

そんなことになるくらいなら家出して国外逃亡したほうがマシ。フィリピン行こうぜフィリピン。例えばの話、もしも、万が一、億が一、ありえないが、私が当主になったとしたら、五条家の当主になった悟の方の先輩とバトることになる。高校の先輩とマイフアミリーをかけた腹の探り合い。負けたら全財産及び地位剥奪。勝ったら呪術界

最強の称号がつく。期限はない。ルールもない。希望もない。何もいやんけ。

「そっか、残念。ごめんね、あと、優でいいよ」

いえいえこちらこそ。

「二人とも俺の事忘れてね？つーか理央、態度悪くね？あとさあ、俺が世話になつてるんじゃないかって俺達が世話してる側だつーの」

蚊帳の外に置かれていた：わけではないが、珍しく黙っていた（話についていけないかつたとも言う）五条さんちの悟先輩が強引に彼女と腕を組む。ちなみに、珍しいのは「黙っていた」ことであり、「腕を組む」ことが珍しいわけじゃない。それはいつも見ている。日本語って難しいね。

で、その五条の悟先輩は構って欲しかったのか、本当に私の態度に不満を感じたのか。多分前者ですね。彼は数秒考えてから煽るような口調で続けた。

「あ、まさか優に惚れた？一目惚れってやつ？まあやらないけど」

それはない。絶対ないと言い切れる。たとえ先輩から土下座されて大金を握らされても厄ネタと結婚する気はない。もしありえるとしたら、政略的なアレが色々絡んだ生々しい結婚式になるだろう。ということは五条 s 悟先輩がお義兄さんになるのか？素直に気持ち悪い。

あと、五条先輩に世話された記憶はない。勝手に存在しない記憶を捏造しないでほしい。そもそも、あまりに悟の方の五条先輩と似ていて恋愛対象として見れない。キツシヨ。

「本当？ありがとうございます」

否定も肯定もしていないが、厄ネタさんは褒められた気になり、嬉しそうに笑う。うん、笑顔「は」いいね。人を馬鹿に笑う悟・五条先輩も見習ってほしい。爪の垢煎じて飲ませてやりたいくらいだ。最も、それで性格が治るなら今頃世界はもつとよくなってるだろう。

「すみません、あまりにも五条先輩とそっくりで驚いたので」

なんとなく私が厄ネタに惚れたような雰囲気になってるので訂正をしておいた。訂正は大事だ。特に相手が絶賛冷戦中の家の人間であれば。うっかり五条悟先輩が「この前禪院家の理央とかいうやつに会ったんだけど優に惚れててクソワロタwwww」とでも漏らせば———実際そんなことはありえないけど———「お宅の理央君がうちの優に熱烈に告白してくるんだ。一体どういう教育をしてるんだ。五条家を取り込むつもりか？ここは責任を取って当主が辞任を———」とか言い出しかねない。五条家の事だ、きつとそうする。

それともここは「あまりにも厄優先輩ネタがビジンだったので」にすべきだったかな？

ちなみに、態度が悪いと言われる理由には心当たりしかない。まず間違い無く棒読み無表情のせい。言い訳をすると、表情を崩さないのは本家で生き残るための最低限のスキル、さらには棒読みも今更だ。動いてくれない表情筋が悪いとは言わない。だって表情は自分で変えるものだから。

それでも、せめて作り笑いくらい上手く出来たらなと思う。「分家の×^xが。作り笑いも上手くできないなんて」と言つてた教育係のお局様を思い出す。正直小学生に聞かせる言葉じゃない。背景1ーの私へ。今どんな気持ち???

「ホントに驚いてんの〜? 目え開くくらいしろよ」

いや、目を開いて驚いたならそれはそれで「わざとらしい」とか文句言うだろう。マジで面倒臭いねん。酔っ払いかな?

「すみません、善処します」

今日で何回謝つたのかな。食べたパンの枚数を覚えてないのと同じく、謝罪の回数も覚えてない。とりあえず反省してない時の常套句を返す。

「うわ、ムカつく、それ反省してない時のヤツじゃん。昨日体術と術式の同時使用の練習相手になってやったのに酷くね?」

なぜキレられたのか全くわからない。それと、昨日のアレは練習でもなんでもなかったの一方的ないじめだよ。弱すぎだとかつまんねーわと笑っていた五条先輩の顔を思

を出す。どうせ先輩が苦戦するくらいの特級事案なんてないですよ。

「昨日のはごめんね、痛かったでしょ。：悟、加減しなきゃダメでしょ、訓練であつて実戦じゃないんだから」

見ていたのなら止めろよ。それとも話で聞いただけ？

「加減」。既に格下だと思われているのは当たり前。うん。だって私二級だもんね。先輩特級だもんね。文句言つたところで煽られるだけだもんね。

「ええ、弱いそつちが悪いだろ、実戦だつたら死んでるぜ、理央」

さいですか。別に私が死のうと先輩には関係ない。迷惑はかけない。嘘、1人消えた分、少し周りの人に任務が追加されるだけだ。夏油先輩あたりはシヨックを受けそうだが2、3、日経てば忘れるだろう。心配して鬱になつてくれそうなのは同級生二人のみ。家の人間は論外。そもそも認知されてるのか怪しい。ついでに悲しい。

「それでも。悟がごめんね、理央君。お詫びに何か奢るよ」

眉を顰めた厄ネタさんが優しく笑いかける。横にある?? a c h i y o の自販機に向き直り、黒い上着のポケットから高級そうな革の財布を取り出す。学生が持つていいものじゃないですね。チラリと見えたのは万札数枚。未来の呪術界最強のハーフの月給はいくらなんだろう。あれれ？なんだか惨めになつてくるぞ？??いや、考えるのも馬鹿らしい。

「ありがとうございます」

遠慮せずに1番値段の高い500ml入りのカフェオレ
砂糖多め
のボタンを押した。

それを見た夢主さんはクスリと笑って呟いた。「甘党なんだね」

そして。こういう時に煽りを忘れないのが五条の悟の方の先輩だ。

「え、マジ？砂糖入れないと飲めねえとか子供かよ」

ちなみに、ニヤけた顔で煽る五条悟先輩がコーヒーに溢れんばかりの粉砂糖を入れようとして止められた事件はみんな知っている。

「すみません」

もちろん一ミリも悪いと思っていないし、実際悪くない。機嫌を良くした五条(悟)先輩はヒラヒラと手を振って笑った。

「じゃあ明日も練習相手になってやるよ」

もうお前帰れ。それか喋るな。

…と、突然後ろから出てきた夏油先輩が二人を呼ぶ。なんかぬるつと出てきたよな今。前髪はいつも通り変だ。

「悟、優。呼ばれてるよ。明日の任務の話みたいだ。…と、おはよう禪院、昨日は悟が悪

かったね」

遅れて私に気づいたのか、手をあげて挨拶してくる。真つ先に昨日の事を謝ってくるなんてどこかの誰かとは大違いだ。爪の垢煎じて（ry

「そう？わかった。ありがとう、じゃあね、理央君」

歩いていく厄ネタさんの背にありがとうございました、と声をかけた。

—— 合同の任務ってなんだよ？ ——

—— 最初に向かった歌姫先輩と冥さんが2日経っても帰ってこないんだ ——

—— 場所は？ ——

—— 静岡の空き家だ ——

—— 大丈夫かな、歌姫先輩と冥さん ——

—— あ？冥さんがいるなら大丈夫だろ ——

—— そうじゃなくてさ ——

—— まあ、この三人なら平気だろ ——

後ろでそんな会話が聞こえ、私は無言で顔を上げた。

普通に生活していると自分でも忘れそうだが、私は転生者で、端的に言えば未来を知っている。読んではから15年以上経った原作知識がどの程度正確かはこの際置いておこう。ぶつちやけほとんどのこつていない。突っ込んだじゃいけません。

高専に入学し、さしす組が自分の先輩になったのを確認した。慌てて記憶を掘り起こし、残りカス程度しかない原作知識を動員した結果、分かったことは2つ。1つは今年中に原作の過去編が始まって何か起きること、2つ、それが終われば五条先輩が最強になり、誰かが死に、夏油先輩が闇堕ちすること。少ないとかなうなよ。15年以上前に読んだ漫画の内容正確に覚えてるやついる？いねえよなあ！（反語）

救済の予定はありません。てか水の上を走るとかマジ理解できない。作品が違いますね。ふざけんな。人間の限界って知ってる？

原作を遂行する予定もない。というかその原作をよく覚えていない。おそらく転生者で救済厨であろう厄ネタは絶対に夏油先輩を助けようとする。もちろん、死ぬであろう誰かさんも。そして私も巻き込まれる。普通に嫌だ。

夏油先輩の闇落ちがなくなれば劇場版巻が丸々カットされることになる。乙骨憂太の「純愛だよ」が生で聞けなくなるのが残念だ。いや、生で聞いてたらそれはそれでヤバイけどさ。

そこまで考えて盛大にため息をついた。これも全てアイツのせいだ。嘘です。責任転嫁する人間が一番嫌いなので、そんなことはしない。

前世について、自分を転生させた神今世の内容が濃すぎてよく覚えていないが、20才くらいでトラックに轢かれて死亡。猫を庇った訳でも子供を庇った訳でもなく、信号の

無い横断歩道を渡っていたら右折してきた車に轢かれただけだ。目が覚めたら神（を名乗る不審者）がいて、手違いと転生を告げられた。転生特典とか便利なものはないらしい。ここまで恐ろしいほどテンプレの神様転生ですね。

それはさておき。

取り出し口に手をつ突っ込んで無理矢理出したペットボトル。砂糖40gの文字と数秒見つめ合って、目を逸らした。

さて誰に渡そう。自分で飲むという選択肢は無い。砂糖多すぎてちよつと無理ですね。七海にでも押し付けよう。ダメならその辺の神社に供えてこよう。これも社会貢献だろ（暴論）

傑の伝えてきた明日の話を横で聞きながら、私はさっきの後輩について考える。

禪院理央。悟からの情報では、禪院直哉のライバル的な次期当主候補。術師は「距離操作」で相伝ではない。どうも、禪院直哉や他の候補が気に入らない連中が分家から見つけてきたらしい。私の知る「原作」にはいない人物。つまり異端子^{イレギュラー}。私と同じ転生者

かもしれない。

私を紹介された時に焦ったり驚いた様子は無かった。不審な点は無かった。…とないと、転生者ではない？でも今まで何もしてこなかったのに突然出てくるなんて、同じ転生者くらいしか思い浮かばない。

彼の年は15歳で七海や灰原と同じ学年。周りからの評価は「控えめで禪院家らしくないが次期当主になっても文句無し」。カッコ悪いからと武器を使わない直哉とは正反対に、戦闘は出来るだけ武器を使い、勝てないなら術式を使う、という感じらしい。現在二級術師。この年齢で二級術師は珍しいが、初の一般家庭出身の特級術師の傑、無下限と六眼のセットの悟、貴重な反転術式の使い手の硝子、そして同じく無下限の使える私の話題に押され、ほとんど話にはあがらなかった。でも、二級程度なら無視できるが、流石に特級が一人増えると原作にも影響が出るはず。

彼が転生者だった場合、説得して私と一緒に原作死亡キャラを助けて欲しい。特に傑。彼が死ななければ百鬼夜行は起きないし、縄索に体を取られる事もなければ渋谷事変も起きない。

どうやって仲間に引き入れようと考えてる。

「聞いてる？優」

「聞いてるよ、どうしたの？」

突然名前を呼ばれ、無意識に下げている顔を上げると不思議そうな顔をした傑と悟が私を見ていた。

「どうしたんだよ、優」

心配してくれている二人になんでもないと笑いかけ、私は再度考える。

最優先は禪院理央が転生者か否か判断すること。もし違ったら私は「転生者を名乗る不審者」になる。次に原作キヤラ救済の協力の説得、他の転生者の存在の確認、原作の事件が予定通りに進んでいるかのチェック等々やる事が多すぎて気が遠くなりそう。

だけど今のところ、禪院理央が転生者ではない可能性はないと思っっている。原作の七海と灰原の同級生に彼はいなかった。転生したら他に転生者疑惑の有る人がいた場合、ライバルの転生者か協力者になるか敵になるかの三択だろう。

私は仲良くしたいけれど、と考える。他の転生者だったら何がしたいのかしら？

先輩に怒るのってアリですか

呪術廻戦原作における懐玉編は夏油先輩闇堕ちイベントの第一段階だ。多分な。

なんやかんやあつて病んで、一般人を大量に殺して、その後五条悟に殺される過程は省く。

その後遺体をメロンパン編に乗っ取られたり渋谷事変を起こしたり五条悟を封印したりするのだが、まあそこは良い。良くないわ。

なぜ私がこんな事を確認しているのかと言われれば、今日がおそらく天内理子同化の前日だからだ。昨日、極秘とか危険だとか言いながら任務に行った先輩達4人（五条先輩、夏油先輩、夢子様、家入先輩）はまだ帰ってきていない。そして今日、朝起きて数分後に突然学長に呼ばれ、言われたのは沖縄で星漿体の少女の護衛に当たっている先輩達のサポート。なんでも、天内理子にかけられている賞金の取り下げの翌日15:00まで護衛するらしい。一応空港で怪しい人物がいないのか確認するためらしい。…ん？なんか既に原作と違う気がする。何かを忘れていている気がする。考えても出てこない。まあいいや。

ちなみに今は飛行機を降りて空港内を歩いている最中だ。帰りたい。

「どう考えても1年に務まる任務じゃない」

「僕は燃えてるよ!!夏油さんにいいところ見せたいからね!」

「クソ…頭痛い…」

「さつきからうるさいですね、なんなんですか」

なんなんですかと言われても。飛行機に乗ると頭が痛くなるんだ。これが本当の頭痛が痛い…?

テンシヨンが底辺に落ちてる七海と私とは違って、灰原はやる気があるらしい。いつもの事だが。その元気はどこから出てくるのやら。少し分けて欲しい。

「それにいたいけな少女のために先輩達が身を粉にして頑張ってるんだ!!僕達が頑張らないわけにはいかないよ!!」

ちなみに今、その「身を粉にして頑張っている先輩達」は海で遊んでるんだが。ナマコ持って爆笑しているんだが。身を粉にして頑張るとは?

「台風が来て空港が閉鎖されたら頑張ら損でしょう」

それもそうなんだが。そうなったら結局私達は何をしに来たんだろう。飛行機で確認した直近2日間の天気予報に雨はなかった。台風発生の情報もない。きつと大丈夫だ。

「予報だと雨は降らないらしい」

「……」

聞いたくせに答えたら微妙な顔で黙った七海。このトリオ大丈夫かな？

現場に先に到着していた補助監督から警備の担当範囲を教えてもらい、その広さにため息をつく。子供だからって疲れないと思つてない？呪術師は万年人手不足である事実を再確認する。

ちなみに那覇空港の広さは約326haだそう。東京ドーム何個分だよ。東京ドームの広さがよくわからないけど。

空港内を歩いて不審人物がいなか見回る。無害そうな変人の集団を横切り、立ち止まつて人の並ぶゲートを見る。夫婦っぽい二人組、背の低いおじいさん、修学旅行らしい団体、黒い服で大量の荷物を持った若い男性。何だこの男性、こんな時に長袖の黒い服着て暑くないのか？（ブーメラン）

結局空港で怪しい人物は見つからなかった。いや、見つからない方がいいんだが。なんかこうちよつと、スリルとか刺激が欲しかった。全くの別件で不自然保に置かれたスーツケース物とか見つければよかったのに。先輩達身を粉にして頑張つてが遊んでい

時にこっちは無駄に空港内を歩いただけ、というとなんか虚しいからだ。（原作を知っているので警戒が無駄になることは知っていたが）…よく考えたら、星漿体を狙うような呪詛師は空港に呪術師がいることくらい知っているだろう。分かつてい

ればあからさまに怪しい格好はしないはずだ。やっぱり空港内を徘徊するのは無駄だったか。残念。

自分たちの6時間の努力が無駄になったと知っても灰原は笑顔で「何もなくてよかったです!」と言っていた。ポジティブすぎやしないか。ちなみに七海は舌打ちと愚痴をこぼしていた。あと少しでキレそうだ。それが正常な反応だと思う。

名前のわからない補助監督から滞在の1日延長を伝えられる。七海がキレた。あれは東京に戻ったら先輩に本気で殴りかかるパターンだ。何があつたんだろうねー、着替え持ってきてないやと言う灰原。私?ちゃんと持ってきてるよ?こういう時に原作知識は便利だ。某有名洋服屋を探す2人。文明の利器を使え…いやまだ開発されてないな。

1日後15:00(賞金取り下げから4時間)

今頃先輩達は高専に到着しパパ黒と戦っているだろう。単行本8巻の最後のシーンだ。護衛が始まってから一度も術式を解いていない五条先輩は高専の結界に入り術式を解く。それを待つていたパパ黒は後ろから彼を刺す。心配する夏油先輩に、五条先輩は大丈夫という。あまり強い言葉を使うな、弱く見えるぞ(ヨン様風)

先に天内理子を連れて高専最下層にある薨屋宮本殿へ向かった夏油先輩を、五条先輩

を倒した。パパ黒が追いかける。そして、天内理子を射殺する。その前に天内理子が帰ると決意したり天元との同化を拒否したりするのだが全て省略する。キレた夏油先輩はパパ黒：もとい伏黒甚爾と戦う。当然負けて天内理子を奪われる。万が一でも億が一でも彼がパパ黒に勝つことはない。絶対に。圧勝した。パパ黒は盤星教本部へ天内理子の死体を持っていく。そこで、反転術式を習得し追いかけてきた五条先輩と戦闘になる。蒼と赫をぶつけて仮想の質量を押し出すとかいう謎の必殺技が使われ、パパ黒は負ける。最期に彼の息子、伏黒恵を五条悟に託し（？）イイ感じに死ぬ。

この後夏油先輩が呪術師ってなんのために戦ってるん…？と考えながら闇落ちし、五条先輩は最強になる。ここはおそらく変わらない。

夢主様は夏油先輩の闇落ちを防ぐため、さらには救済のため、パパ黒を倒そうとする（殺しはしない）だろう。その場合、多分こうなる。

①夏油先輩と天内理子（後メイド）のみが下に向かい、夢主様は五条先輩と一緒にパパ黒と戦う

↓おそらく負ける

パパ黒は五条悟の術式をほぼ把握している。五条先輩とほとんど同じ術式で彼より弱い夢主は簡単に対処されるだろう。

②夏油先輩と一緒に天内理子を下まで連れて行く

↓天内理子の殺害は阻止できるかもしれないが、多分負ける

夏油先輩の術式を呪霊操術と見破った彼は既に術式の割れている夢主様も含めて倒すだろう。五条先輩とセツトで有名な夢主様は呪詛師にも顔と術式が割れている。

どちらになろうが懐玉イベント（違う）の結末は多分変わらない。…と思っていた。

午後5：00。五条先輩は無事パパ黒に勝ち、天内理子も取り戻せたらしい。そこまでは良かった。高专内で伏黒甚爾に襲われた五条悟は一度敗北する。その際、彼を一戦闘開始から避難していた家入硝子が反転術式で治癒させたらしい。昨日感じた違和感の正体がコレだった。原作で家入先輩は星漿体護衛の任務についていない。それは単純に反転術式を他人に使える彼女が貴重だからだろう。原作ではその場に家入硝子はいなかった。だから五条先輩は自力で習得した反転術式で回復するのだが、それがなく、家入先輩によって助けられている。つまり五条先輩は反転術式を使えない。

これは重大事件である。五条悟が『最強』になるには反転術式と虚式「」、術式対象の自動選択、領域展開を習得することが大切だと考えている。あくまで私の個人的見解だが。それでも原作五条になるには反転術式が必要だろう。それが使えない。これで五条先輩が夏油先輩を差し置いてすぐに最強になり闇堕ちする可能性は低くなった。劇場版が消えた…

「うわぁ…」

車の中で一人呻いた。もちろん運転している補助監督には聞こえない声で。

星漿体護衛の任務についていた五条悟らが襲撃されたという情報はすぐに回ってきた。沖繩から戻り別の任務を終え、疲れていた時に。星漿体の事となると上もなりふり構ってられないのだろう。二級術師以上は高専に召集がかかった。なぜ一級以上じゃないんだ…

夏油先輩闇堕ちイベント（言い方についてはもう突っ込まない）が無いと原作の流れが一気に変わる。だが、流れはある程度予想可能だ。某夢小説サイトに多数ある原作キャラ救済モノはある程度「流れが決まって」いる。いわゆる「お決まりの」ってやつだ。それを読めば大体わかる。当たるかどうかは分からないが。

それにしてもマジで何してくれてんだアイツ。ふざけるな。彼女が無下限のオートと反転術式を習得する前に背後から刺してやろうか。パパ黒っぽく。

本気で五条優殺害計画について考え始める。実行することはないが。高専の建物が見えてきた。今頃五条先輩は盤成教本部で天内理子の遺体を持って非術師からの喝采を浴びていることだろう。つまり私が高専に戻ってきてても事後処理に駆り出されるだけだ。面倒臭い。

五条悟は最強になる義務がある（と勝手に考えている）

沖縄にいる間、自分がどうするべきかずっと考えていた。

五条優は転生者だ。前世では普通の女子高生だった。アニメが好きで、かつこいいキャラに憧れて、周りの異性を見て「まあ、現実こんなもんか」とかなり失礼なことを考えていた。男性アイドルにガチ恋して「○○君尊い！」とか叫んでる友達を見てドン引きし、自分も同じだと言われて気づいたり、オタクっぽいイメージを変えようとしたりもした。

なろう系の転生に憧れ、私も転生してみたい！と思い、だけどトラックに突っ込む勇気も行動力もなく諦めた。絶望したり疲れたりして車道と歩道の区別がつかずにトラックに轢かれることもなかった。学校の帰りにボールを追いかけて道路に飛び出した子供を庇うこともなかったし、猫を庇うこともなかった。神様のミスとやらで突然死ぬこともなかった。

当然と言えば当然だ。だってそれは空想上の出来事で、本当は起きるはずがないから。

だけど私は転生した。

突然だった。家に帰って疲れてそのままベットにダイブ、起きたら知らない天井だった。いや、そもそも天井すらなかった。

360度自分の周りが全て白い世界で、私は神様を名乗る怪しいおじいさんに転生先の希望を聞かれた。私は呪術廻戦の世界を希望した。

転生特典は4つ。五条悟の妹として転生すること、無下限呪術と六眼を持つて転生すること、それらを扱えるだけの才能を持つて転生すること、他人にも作用する反転術式を習得可能にすること。神様側の都合により結果的に六眼は片目のみになってしまったが、その辺の術師には引けを取らないだろう。

転生して、普通に原作キャラを救済するつもりだった。私はパパ黒も夏油傑も五条悟も好きだ。全員死んでほしくない。助ける方法は既に考えていた。でも、自分以外に転生者がいるなんて考えていなかった。そういう系の夢小説はたくさん読んでいたのに。禪院理央。灰原や七海と同じ学年で、1年で2級術師という事を除けば目立たない子。

存在を知った時、内心かなり動揺した。が、別にありえない話ではない。自分の他にも転生者がいただけだ。いるだけでは原作に影響はないだろう。だけど、もしも彼が私の原作キャラ救済に反発したら？

原作キャラ救済をやめると言う選択肢は最初からなかった。私の中にあつたのは、ど

うやうや彼を説得し仲間に取り入れるかということ。断られたら？そもそも転生者ですらなかつたら？もし違ったらただの不審者だ。浮かんでくるのは疑問や問題点のみ。打開策や方法は一切浮かんでこない。

結局何も思いつかなかつた。心配事が目の前にあるからか、悟と一緒にパパ黒と戦っている時も集中できず、足手まといになつていた。途中、私と硝子の反転術式でなんとか互角にまで持つて行つたが経験の差で負け、理子ちゃんは殺され、パパ黒は原作通り悟に倒された。おまけに硝子もパパ黒に刺された。彼女は自身に反転術式をかけ、乗り切つたので大事には至つていない。唯一貢献できたことは、パパ黒に負けた後、残りの呪力を全て悟を治療する反転術式に使い、原作より5分早く磐成教本部に行けたことくらい。

まあ、早さになんの意味もないので、要は何も貢献できていない。

最悪だ。それに、途中で私が下手に援助してしまつたせいで悟は反転術式を習得していない。虚式〔〕は習得したが、反転術式が使えないのは今後困る。毎回硝子が任務について行く訳でもなく、怪我をした時に治せないのはヤバいし、今後の展開的な問題もある。

反転術式のない悟が傑に勝てるのか？

答えは多分、Yes。0巻と映画の百鬼夜行で、悟が反転術式を使っているような描

写はない。もちろん、描かれていないだけかも。これは一種の賭け。もし。悟が反転術式を使わなければいけない状況になったら、私が代わりに使おう。私がお場にいなかったなら硝子が。常にどちらかが側にいるように。

イレギュラー

私イレギュラーがいることで傑側の戦力が増えているかも。その場合は仕方ない、悟に頑張ってもらうしかない。おそらく、私は戦力の分散という名目で京都に回される。もしかしたら、誰か、上層部の刺客が私を殺そうとしてくるかも。女で無下限を使える（片目だけ）六眼持ち、そんな私が最前線で戦っているのを、時代遅れの男尊女卑思考を持つ上層部は気に入らないはず。そうなったら相手を呪詛師と思つて戦おう。

そんな未来のことを考えていても意味がない？早すぎる？そんなことはない。考えていて損はないし、非常時にその場で正しい判断ができるほど、私は賢くない。きつと焦つて変な行動を起こす。だから考えるの。

もちろん最善は傑の闇落ちを防ぐことだ。ただ、天内理子が殺された以上、それは難しい。毎日同じように考えて思いついた案はたった一つ。

悟を最強にせず、傑の劣等感を鎮火する。呪術師への不信感については、非術師に感謝される呪霊退治の任務で彼を忙殺し不信感を消す

案と呼ぶにはお粗末な、ほとんど力技の解決策。理子ちゃんが殺され、傑は今、非術師を守る事に疑問を持っている。それを、感謝される呪霊退治をさせて忘れさせる。彼

は今、二人がかりでも倒せなかった。パパ黒を一对一で倒した悟と、手も足も出さず倒された自分を比べ劣等感を抱いている。だったら悟の成長を無理矢理止めればいい。悟の成長を止め、傑がそれに追いつく。そこから先は二人同じように成長する様にすればいい。

自分でも無理なことを考えているのはわかっている。一度抱いた不信感や劣等感を消すのは難しい。でも、今ある案はこれだけ。少しでも可能性があるなら試すべきだしよ。

気持ちは固まった。

とりあえず、目先の問題の解決が必要。禪院理央を説得して仲間を引き込む。まずはそれから。

一瞬、背中に冷たいものが走った気がする。

「どっしりました?」

パパ黒VSさし組十五条優の戦闘の後片付けの最中、突然動きを止めた私に補助監督が声をかける。

「いいえ、何も。すみません、大丈夫です」

取り繕うように強引に笑顔を返した。何が大丈夫ですみませんのかよくわからな
いが、謝っておく。例えば自分が悪くなくとも謝っておいた方が相手に好印象を与える。
人を殺しても謝るなど言われるらしい自由の国とは大違いだ。

なぜ悪くないのに謝らなきゃいけないのか。私は、親が子供に言う「ありがとうは？」
が大嫌いだ。日本人は「ありがとう」と「すみません」を安売り（押し売り？）しすぎ
では？と思わなくもない。本当に。良いじゃないか、自分の必要だと思っただけ言え
ばいいだろう。

クソどうでもいい事を考えている間に、戦^片後処理^付は終わった。自分が関わったわけ
でもない戦闘の後片付けをするのは面倒臭さを倍感^けじる。

さつきから文句しか言っていない気がする。話題を変えよう。

五条優と家入先輩が下手に助けたせいで、五条悟は反転術式を習得していない。家入
先輩も刺されたらしいが、あの人は自分でどうにかしてしただろう。問題はそこじゃな
い。初めて知った事実が問題だった。

五条優は反転術式を使える

しかも、他人に作用させることができる。自分限定ならまだ良かった。それなら何の
問題もない。だが、おそらく、彼女は他人にも使える。

パパ黒は、原作通り五条悟を倒し、イレギュラーでその場に隠れていた家入硝子を刺

した。それを自分で直した彼女に、重傷を負った五条悟を完治させるだけの呪力が残っているだろうか。

多分、無理だ。夏油先輩は天内理子を連れてその場を離脱した。もしその場にいたとしても、彼は「使えない」人だ。そして、五条悟は反転術式を未習得だ。

そうなると必然的に残るのは、五条優が反転術式を使える可能性。(勿論、第三者がいた可能性もなくはないが、この場合は除外する)

回復キャラ、つまり夢小説の定番。うーん！香ばしい黒歴史のかほり！